

会 議 録

会議の名称	令和2年度 第1回西東京市健康づくり推進協議会
開催日時	令和3年2月15日（月） 書面開催
出席者	中澤会長、馬場委員、中条委員、浅野委員、井出委員、伊集院委員、筒井委員、肥沼委員、池田委員、大安委員、富永委員、平野委員、村山委員、片白副会長、小林委員
議 題	(1) 第2次健康づくり推進プランの進捗状況について (2) 生きる支援推進（自殺対策）計画について (3) その他
会議資料の名称	資料1 西東京市健康づくり推進協議会条例 資料2 西東京市健康づくり推進協議会 委員名簿 資料3 第2次西東京市健康づくり推進プラン 進捗状況 資料4 第2次西東京市健康づくり推進プラン 進捗一覧 資料5 西東京市生きる支援計画 進捗状況 意見提出シート
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容 （ 提 出 意 見 ）	
<p>【資料3 西東京市健康づくり推進プラン進捗状況について（委員意見）】</p> <p>○健康寿命について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「元気な高齢者」の割合の出し方がよくわからない。同じ介護度の方でも個人個人で差があり、単なる介護度で見ているのか、実態で見ているのか。 ・「健康寿命」の表が理解しにくい。65歳の方が要介護2以上の認定を受けるまで、といっても、環境によりとても大きな差があると思う（70歳位から独居をしていた母が75歳頃に、施設に入所していたが、直後にソファーに座る生活になり、あまり動けなくなった。筋力がすぐに低下し、歩くのも大変なくらいになってしまった。私が毎日通って歩かせていたが、施設のスタッフの方々は冷ややかな感じでありあまり歓迎されていない様だった。）。施設等では、スタッフ不足等もあり、1人1人にしっかり向き合っの対応を困難な状況の様ですが、どんどん衰えていく母を見るのは悲しかった。いろいろな制度を作っても、実際に活かされなければ、意味が無いと思う。 <p>○ガン検診の項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診受診率について、この数字が良いのか悪いのか判断できなかったが、がん精密検査の項目で、大腸がんの精密検査受診率が66.2%（平成28年度）にびっくりした。 	

・市では受診できる様に取り組んで頂き感謝している。一方で受診率が低く、もったいないと思う。大腸がん検診は、特定健康診査受診時にできるのでとても便利である。

○健康ポイントアプリについて

・とてもいいアプリだと思う。コロナ禍でウォーキングされている市民は、高齢者を含め増加したと思う。スマホを所持している高齢者も多いが、アプリにインストールまで、自力でできない方も多いのでは。こういう状況で難しいかもしれないが、高齢者が集合する何かの会で、インストールを代行したら、もっと登録者数は増加するのではないか。

・PCやスマホ、健康に積極的になっていらっしゃる方は、このアプリは便利だと思う。どの年代の方々をねらいにしているのか。

・「元気な高齢者」の割合から推測すると、高齢者は、増え続けると思われる。高齢者になると積極性に欠け受け身の方が増え、アプリをうまく活用できるのか不安である。特に、現在65才から90才台の方々の使用は、多くないと思う。行政の各課で色々な健康に関して事業を行っていると思う。それらの事業をバージョンアップする方法もありかと思う。特に今コロナ禍で考えられる事があると思う。

○子育て応援アプリについて

・少子化が進む中で子育て応援アプリは、とても良いと思う。医療機関だけでなく、子育てに必要な情報が取れるのは良いと思う。

【資料4 西東京市健康づくり推進プラン 進捗一覧について（委員意見）】

・アンケートにより状況の把握をしているが、どのような方々に回答をいただいたのか。任意の場合だと、日頃から健康を意識し、注意している方が多いのではないか。

その場合は、向上の回答が多くなりそうである。その割には、上げる目標の結果が出ていない。

総合目標の23～28年度は、上がっている変化結果がわかるが、上昇の仕方（乱れているか順調に上昇か、急激変化か等）がちょっと気になる。

出生率は低下しているが、1年前からのコロナ禍ではどうなのか。

・メタボの減少目標は難しいという様な結果となっているが、コロナ禍になり更に状況が悪くなっている様に思う。喫煙・飲酒の数値は低いですが、目標に向かっているのか。29年からの数値がわからず心配である。

進捗状況1・2とも、コロナ禍では特に家での生活が多い方も増えていると思うので、生活習慣が大事になる。食事・運動・睡眠等の各家庭での見直しをする必要があるかと思う。また、各家庭における、精神的ストレスが心配である。